

園長	主任	担任
父母会行事(風船太郎)	4日	
冬のパーティ	7日	
身体計測	19日	
避難訓練	26日	

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の体調に留意し、寒い時期でも元気に過ごせるようにする。 簡単な身の回りのことを自分でするうれしさを感じられるように関わる。 友達や保育者と一緒に、簡単な言葉をやりとりしながら、遊びを楽しむ。 	健康・安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防のため、室温や湿度、換気に気を配り、取手や玩具の消毒をこまめに行う。 食事前やトイレ後の手洗いを丁寧に、感染症予防に努める。 活発さが増し、予期せぬ行動が増えるので、玩具や遊具の置き場所を見直すなど、室内外の安全点検をしていく。 	行事	<ul style="list-style-type: none"> 父母会行事(風船太郎) 4日 冬のパーティ 7日 身体計測 19日 避難訓練 26日
-----	---	-----------	---	----	---

	子どもの姿	内容	環境構成	保育者の配慮
養護の生活/食事・排泄・睡眠・清潔・着脱	<ul style="list-style-type: none"> 朝泣きながら登園し、「だっこ」と言って、気分がなかなか切り替わらない子がいる。 食べたくない物を残して、別の器に移し替えて遊んでいる。 「にんじんだべられるよ」「これは〇〇」などと保育者に知らせながら食べている。 午睡明けに便器に座ると、排尿できる子が増えている。「せんせい、でたよ」と伝えに来る。 おむつを替えたがらなかったり、トイレに行きたがらなかったりする。 友達が寝ている布団の上を歩き回ったり、大きな声を出したりする。 食事後、口の回りをおしぼりで拭こうとしている。 外遊びの後、自分でマークの付いた服を取ってきて、服を脱ごうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ち切り替え、機嫌よく過ごす。 満足感を味わいながら、楽しく食事をする。 様々な食材に興味を持ち、楽しんで食べる。 自分でズボンを脱ぎ、便器に座ってみようとする。 自分からトイレに行ってみようとする。 すぐには眠れなくても、自分の布団の上で横になり、休息する。 綺麗になった気持ち良さを味わう。 衣服の着脱など、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味・関心に合わせて、室内の玩具や絵本の入れ替えを行い、遊び込める環境づくりをする。 大人の声が響かないようにし、静かで落ち着いた食事の環境づくりを心がける。 食事中は、食卓についている保育者が動かなくて済むように連携をとる。 トイレに必要なものを置かないようにする。整理整頓、清潔を常に心がける。 玩具を片付け、落ち着いた環境づくりをする。 台拭きとおしぼりを間違えないように、おしぼり用のカゴを机の中央に置いておく。 着替えをする時には、ベンチを出すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの甘えや不安を十分に受け止め、必要に応じて一対一でゆったりと関わられるように連携をとる。 遊びはじめたときは、早めに食事を切り上げるなどし、食べ物では遊ばないことを少しづつ知らせる。 子どもの問いかけに丁寧に応答し、ゆったりとした雰囲気の中で会話を楽しみながら食事ができるようにする。 排尿ができたときは、嬉しさに共感し、一緒に喜ぶ。 トイレに行くことを無理強いせず、「後で行くよつね」「行きたくなったら教えてね」と言葉をかけて見守る。 ふれあい遊びや絵本を読みながら、気持ちを落ち着かせたり、眠りたい子の妨げにならないよう部屋を分けたりする。 「きれいになったね」と声をかけ、気持ち良さを感じられるようにしたり、自分でできたことを十分に認める。 着替えを見守る中で、難しい部分をさりげなく援助し、自分でできた喜びを感じられるようにする。

遊び/健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> 散歩車を使わず、手つなぎで散歩に行くことを喜んでいる。 友達が持っている玩具が気になって強引に取ろうとする。 赤い落ち葉を拾って並べ「いらっしやいませ」とお店屋さんごっこを楽しむ。 クレヨンやフェルトペンでなぐり描きをしたり、パズルをしたりし、手先を使った遊びを楽しんでいる。 保育者の声かけに「いや」と言ったり、「ちがう」と言ったりする。 友達と玩具や場所の取り合いが増え、叫んだり、噛みつきや引っかきで気持ちを表している。 絵本「おおきなかぶ」の読み聞かせで、「うんとこしょ、どっこいしょ」と言いながら楽しむ。 「おまたせしました。ジュースです」と言って、保育者にペットボトルの玩具を運んでくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手つなぎで散歩に出かけ、歩くことを楽しむ。 保育者の仲立ちで、友達に親しみを感じながら遊ぶ。 三角巾やエプロンなどを付けて、つもり遊びを楽しむ。 指先を使った遊びを満足いくまで楽しむ。 安心して保育者に自分の気持ちを簡単な言葉で表す。 自分の思いやしたいことを、保育者や友達に態度や簡単な言葉で表そうとする。 保育者と一緒に絵本を見たり、お話を喜んで聞いたりする。 みたて・つもり遊びの楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 余裕のある大人の人数で散歩に出かける。 安全に歩ける道を下見しておく。 少人数で安心して関わられるように場所を仕切る。 十分な玩具の数を用意する。 玩具や場所の取り合いにならないよう、玩具の数を十分に用意したり、少人数で遊べる場所を作る。 子どもの興味に合わせて、手先を使った遊び(シールはがし、粘土など)を準備する。 活動の切り替わり時には、時間をゆったりと設定する。 取り合いが起こらないような場の設定や、玩具の数の見直しをする。 発達や興味・関心に合った絵本を用意する。 絵本の入れ替えを適宜行う。 子どもの遊びの様子から、必要に応じて玩具を増やしたり、新しい素材を入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭や、部屋の移動の際に、手をつないで歩き、少しづつ手つなぎに慣れていく。 友達と関わりたい気持ちを認めながら、「かしてって言ってみようか」などと声をかけて仲立ちしていく。 子どものイメージを言葉に置き換え、返していたり、友達イメージとつなげたりしながら、遊びを広げていく。 時間をたっぷり取り、満足いくまで遊べるようにする。 「いや」と主張する姿を受け止め、「じゃあ〇〇にする?△△にする?」など自分で選べる場面を作ることで、気持ちの切り替えを援助していく。 関わりをよく見守りながら、言葉にならない思いを受け止め、気持ちを代弁するなど、丁寧に関わっていく。 遊びが重ならないスペースで絵本を読み、ゆったりと楽しめるように配慮する。 保育者も一緒に遊んで、みたてたり、つもりになったりして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。
---------------------	---	--	--	---

家庭・地域との連携	職員間の連携	月の反省と自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの機嫌や遊びの様子を丁寧に伝え、家庭での様子をこまめに聞き取り、子どもの育ちを伝え合う機会を増やしていく。 連絡ノートに質問があった際には、専門的な視点で答えていくようにする。 子どもに体調を崩すサインが見られた時は、降園時に伝え、翌日丁寧に健康状態を聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤食を防げるよう、アレルギー児配膳マニュアルを徹底して行う。 個別月案を元に、一人一人への声の掛け方や対応を共通理解し、職員によって対応が異なるようにする。 役割分担を明確にし、動きが重ならないようにする。その日のリーダーはクラスの全体を見ることを怠らないようにする。 	